



国連大学ワークショップを実施しました!

10月3日(土)に、「SDGsから考える北陸地方の問題:教育、雇用、地域格差など」をテーマに国連大学ワークショップを行いました。モデレーターとして北村友人先生(東京大学准教授・ポスト2015プロジェクトリーダー)と山崎瑛莉先生(東京大学大学院教育学研究科・上智大学特任教授)にお越しいただきました。

豊かな自然と文化に恵まれた北陸・石川県。今年4月には新幹線が開通、地価も上昇、一見特に問題を抱えていないように見える地域です。しかし、果たしてこの状態はいつまで続くことができるのか? 能登地区の過疎化、伝統工芸の後継者不足等、実は問題が山積しているのでは? それをどうやって解決に導くのか? グローバル(世界)からローカル(石川)へと視点を動かすことによって、生徒達には様々な事が見えてきたようです。



* 講義メモ *

□ 持続可能な社会とは
どこかの地域・世代に我慢を強いるものであってはならない
⇒「**将来世代の欲求も満足させながら、現代世代の欲求も満足させる**」

□ 2000年 **MDGs (ミレニアム開発目標)**
8つの目標(貧困や飢餓・初等教育の普及など)は、いずれも**発展途上国の開発を主眼**において設定

↓
2015年 **SDGs (持続可能な開発目標)**
17分野 169項目に及ぶ目標
⇒**先進国と途上国両方の問題**として策定

□ 様々な問題が複雑に絡み合う問題が、今世界中に山積
→限られた人だけで議論したり責任があることではない

↓
私たち一人ひとりが、まずは「**知る**」

↓
知った上で「**考える**」

↓
考えたことを「**伝える**」

詳細は、GEOC地球環境パートナーシッププラザのHP
<http://www.geoc.jp/international/>で紹介されています。

小さな小さなことに積極的に取り組んでいけたら、もっとよい世界になっていけるだろうな、と思いました。私たちの考えたことが実行されたら、もっとおもしろくなっていくだろうな、と思います。

「持続可能な社会を石川県で実現するために」という難しいテーマで、初めは固い考えしか出てこなかったが、他の人と話していくうちに、徐々に自分たちにも実行可能で、しかも特徴的な、飛躍させた考えにたどり着けたことが嬉しかった。

とても刺激的な半日になり、身が引き締められる思いです。日々の教科書だけの勉強だけでなく、新聞などを読んで、もっと自分の世界を広げたいと思いました。

今日各グループから、「私たちにできること」の提案があったので、身近なところから少しずつ行動していけたらいいなと思いました。そして、機会があればまた違うメンバーともディスカッションして、視野を広げて、もっと大きく行動できたらいいなと思います。



京都大学大学院生の講義を体験しました!!

10月17日(土)EX終了後、京都大学大学院 アジア・アフリカ研究科に所属されている大学院生の二ツ山達郎さんを講師としてお招きし、「異文化理解はどこまで可能か!?～文化人類学から考える他者理解～」をテーマにお話をいただきました。その後京都大学の詳細な大学説明をしていただきました。

異文化を考えるときに大切なこと、それは「相手の文化を理解して受け止めながら、自分の文化を見直す」こと。異文化の異なる部分にばかり目を向けていませんか?真の異文化理解は、自分の文化を見直してこそ達せられるのではないかと、というメッセージにはハッとさせられる皆さんも多かったのではないのでしょうか。

* 講義メモ *

□アジア・アフリカ研究科 ニツ山先生の研究より
主にチュニジアの村(人口400人規模)でフィールドワークを行っている。

チュニジアの事例

*トイレ : トイレトペーパーがなく、便座もない。

*結婚式 : 男女別に行われる。 ETC...

= 日本の文化と全く違う様相



□文化人類学とは?

= 現地の人々と一緒に住んで(フィールドワークを通して) 彼らの行動や考えを記録し、彼らの文化を理解していく学問。

□まとめ

文化相対主義(他文化を理解することで自分たちの持つ概念を考え直すこと)的にもものを見ることは重要だが、危険な側面も併せ持っている。

だから...

→ 他の見方を知った上で、自分の世界観・価値観を新たに作り直したり、物事を判断しようとする姿勢が大切である。



今回この授業を受け「ものの見方」「異文化理解」について改めて考えさせられました。国と国の文化の違いだけが異文化ではなく、同じ国の人同士でも異文化が存在することが分かりました。それを互いに知り歩みよることが大切なのだとなり、とても良い体験でした!

イスラーム国について、「理解できない」と思っていたので、そんなふうにシャットアウトしてしまうと溝が埋まらない、ということに気づかされました。

自分の興味が今の自分につながっているなんて、すごいなと感じた。実際に海外に行って、自らの目や足で、見て、感じて、体験したことを通して、今の自分を確立している姿は、私も見習っていかなければならないと感じた。

ヨーロッパの国々にばかり興味があったがアフリカの小さな国や村にも魅力がいっぱいあってもっと知りたいと思った。今回の講義を通して世界のさまざまな文化に触れることでもっとグローバルな人材になり、多面的多角的に物事をみられるようになりたいと思った。



11・12月のSGH推進室関連の予定

12月5日(土) 土曜EX

グローバルイングリッシュ: 「Discussion Test ~外国人との文化交流~」

金沢大学の留学生を始めとした外国人ゲストと、出身地の食事・イベント・観光地・文化など他国の文化やコミュニティ事情についてディスカッションを行います。未知の世界を知るチャンス...!!

12月12日(土)

グローバルリーダー養成講座: 「模擬国連チャレンジプロジェクト」

➡ 詳細は次号で!!